

開校60周年

学び考える生徒 思いやりのある生徒 すすんで心身を鍛える生徒

滑中だより

令和3年12月1日発行 第8号 発行者 校長 八木原利幸



感謝の心、「命の授業」講演会から

今年度、PTAの支援を受けて、各学年で講演会を実施しています。子供たちの学校生活がより充実したものになればと願って開催しています。すでに、3年生と1年生は終了いたしました。

3年生は、「命の授業」-ありがとう 命の時間-という演題で、株式会社ティア 代表取締役社長の富安徳久氏から、1年生は、「新聞から学ぶ-伝えるための技と工夫-」という演題で、株式会社 埼玉新聞社編集管理幹 吉田俊一氏からお話を伺いました。

ところで、先日、2020年度の埼玉県内の児童生徒の自殺者数が21人、前年度から6人増加し、1994年の調査開始以来過去最多だった、という報道がありました。中学校は3人(同2人減)、高校は18人(同8人増)で、小学校の自殺者はいなかったとのことです。県教育局生徒指導課は「精神的に不安定だったという要因が多かった、心の不調を早期に発見し対応できるよう、メンタルヘルスリテラシーの取組をさらに充実させる」との考えを示しました。なぜこんなにも自殺者が多いのかと、心が痛みました。

そこで、3年生の「命の授業」講演会と一冊の本について触れたいと思います。株式会社ティアは葬儀会社です。富安氏は、職業柄何万人もの「生」と「死」に向き合ってきました。だからこそ語れる話、学校教育の中では、教えてもらえない大切なことを斬新な切り口で語っていただきました。後日、本校に数冊、献本していただきました。その中に「心の角度を幸せに」という一冊の本がありましたので紹介させていただきます。以下の書き出しで始まります。

「心」は見えません。カタチなく揺れ動きます。ときに穏やかに、ときに激しく。心の振れ幅は、思いやりの深さに比例する、と私は思います。心が感じる角度をほんの少し変えるだけで、穏やかなときも激しいときも、「感謝の心」にたどり着きます。その「感謝の心」にたどり着くことが、幸せに生きるための最高で最良の心の角度だと知りました。

読んでいくと、

「一視同仁(いっしどうじん)」、「差別することなく、すべての人を愛する」の意だ。それは「理」を深く刻んだ寛容な心からしか生まれない。

2009年3月、葬儀ビジネスに携わり丸30年が過ぎた(初版発行が2010年6月)。直接的な担当者としてだけではない方々も含めれば、何万人もの方の最後を見送ってきた。さまざまな生の最後を目の当たりにし、さまざまなご遺族の想いを瞬間的に共有させていただいた。命が繋がりがゆく、尊き場面がそこにはあった。

そのたびに、思う。私にも両親がいて、その両親にも両親がいて、そのまた両親にも両親がいる…。繋がれてきた命なくして、今の自分は絶対に存在しない。普段は忘れてのこと…。しかし有り難い、まぎれもない真実だ。忘れていた「感謝」がそこにはある。想い留めなければならぬ「感謝」がそこにはある。

この世に生を享けたあの瞬間。何一つとして、一人ではできなかった自分がいたはずだ。与えられた奇跡の「命」が、生きながらえるためにお乳を与えられ、ミルクを与えられ、着るものを与えられ、オムツの世話をさせていただき、食事の世話をさせていただき、幼稚園・学校へ行かせていただき…。与えられ続けた時間が、そこにはあったはずだ。

忘れていませんか?見返りなしに与えてくださった「親(基本的には親)」への感謝を。それらを想い起こし生きる人生にこそ、それらを想い起こし取り組むビジネスこそ、「感謝」の心理を受け止めた理にかなった価値が、理にかなったレゾナントル(存在理由)がある。

その感謝を親孝行という形で返すもよし。実の親に育てられたんじゃない、というのであれば、その感謝を与えてくださった方々に返すもよし。しかし、私は思う。繋がれてきた命に感謝するということは、親のみならず、縁あり出逢った方々に、自らができることを与えていく生き方をする事だと。

与えられたことへの感謝を出逢った方々に与えていく。愛は繋いでいただいた命への感謝とともに、すべての人に何かを与えながら繰り返されるべきものだと、それが「命の真理」だと、私は心から思う。繋がれていく命の終わりと始まりを見続けてきたからこそ、強く思う。感謝は、誰彼にだけではなく、すべてのモノに対しても注ぐべき「理」だと。

我、人として「一視同仁」たるべき。「すべての人を愛する」「すべてのモノを愛する」人生もビジネスも根底に流れるのは、「感謝する心」でなければならない。《心の角度を幸せに(富安徳久著)より》

すべての子供たちが「感謝の心」をもって幸せに生きてほしいと強く願うとともに、本校のめざす学校像である「笑顔と幸せがあふれる滑川中学校」の実現に向けて、一步一步着実に歩んでいきたいと思ひます。

※1月は2年生対象に「夢の実現のために」という演題で、将来に対して夢を抱き、進路を決定していく力を高められるよう、昌平中学・高等学校 校長 城川雅士 氏の講演を予定しています。

「さすがです。滑中生！」

【中学生の税についての作文】

知事賞 「普段使っている競技場が、県税で運営されている！」

- ・知事賞 佐藤 葉月 ※入賞作品3点
- ・町長賞 土屋 瑠奈
- ・東松山地区納税貯蓄組合連合会長賞 田中 瑠夏

【関東大会へ！激走第3位！！】

～埼玉県駅伝競走大会～



11月6日(土)に熊谷公園陸上競技場にて、埼玉県駅伝大会が行われました。

男女各53チームが全国大会、関東大会を目指して襷をつなぎました。本校女子駅伝チームは、前半から守った関東大会出場の順位である4位以内を常にキープしながら3位入賞を果たし、12月5日(日)に栃木県的那須塩原(那須野原公園)で行われる、関東大会への出場権を獲得しました。選手1人1人は、出走後、自分の力を十分発揮出来、とてもすがすがしい笑顔で喜びの気持ちを表現していました。

【登録メンバー】・戸口しおり・浅見帆香・濱田亜妃・齋藤美佑・諸貴姫乃・佐藤葉月・谷口心渚・古田心愛

【埼玉県アンサンブルコンテスト

西部地区大会】

- ・<金賞> 打楽器八重奏 仲煌太、萩原希実、北澤くるみ、河合楓羽、深町心優、木川奈美、新井美緒、吉田りお
- ・<金賞> 金管八重奏 吉原楓、浦 楓、往田悠希、津久井琴、徳村咲良、小林由菜、能見悠加、吉永あおば

【合唱コンクールいよいよ開催】

延期していた合唱コンクールが学年別で開催となりました。クラスが一致団結し、素晴らしいハーモニーを奏でます

学年	クラス	課題曲	自由曲
1年	1組	Let's Serach For Tomorrow	いつかこの海を越えて ほらね、 次の空へ 旅立ちの時 地球星歌
	2組		
	3組		
	4組		
	5組		
2年	1組	翼をください	Yell あなたへ 時の旅人 結 予感
	2組		
	3組		
	4組		
	5組		
3年	1組	大切なもの	ひとつの朝 はじまり 信じる 言葉にすれば 決意 親知らず子知らず
	2組		
	3組		
	4組		
	5組		
	6組		

校内書きぞめ展【御連絡】

今年も、昨年度同様に新型コロナウイルス感染予防対策の為、地域の方々や保護者への公開が出来ないことの御理解をお願いします。

行事予定

- 11日(火) 始業式
- 12日(水) 全学年実力テスト
- 14日(金) 新入生説明会
- 17日(月) 避難訓練
- 19日(月) ふれあい弁当
- 19日(月) 交通安全指導
- 進路講演会(2年)
- 21日(金) 給食開始
- 1・2年教育相談週間
- 22日(土) 英検
- 29日(土) 漢検

行事予定 12月

1	水	
2	木	
3	金	修学旅行荷物搬入
4	土	
5	日	修学旅行(2年) 関東駅伝大会
6	月	
7	火	
8	水	振替休業日(2年生)
9	木	合唱コンクール(1年) 健全あいさつ
10	金	合唱コンクール(3年)
11	土	
12	日	
13	月	3者面談(3年)
14	火	(3年:火1・火2・火3・火4・火5)
15	水	合唱コンクール(2年)、交通安全指導 ふれあい弁当(3年:水1・水2・水3・水4・水5)
16	木	読書講演会(1年) (3年:木1・木2・木3・木4・木5)
17	金	性教育講座(3年) 3年生のみ5校時 特別日課(金3・金4・金1・金2・金5・金6)
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	給食最終日
23	木	短縮日課3時間、大掃除 給食なし・部活動なし
24	金	2学期 終業式
25	土	
26	日	
27	月	冬季休業日
28	火	冬季休業日
29	火	年末・年始閉庁期間 ~1月3日(月)
30	水	
31	木	

2022

1月